

地震が発生したその時、

家で

学校で

で

職場で

で

どんな行動をとりましたか？



▲福島県相馬市の津波被害

撮影：常陸大宮市消防本部緊急消防援助隊

東北地方太平洋沖地震発生

平成23年3月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震は、東北地方の太平洋沿岸を中心に北海道から関東地方にかけて被害をもたらした。多くの尊い命や財産を奪い去りました。この震災では地震そのものによる被害に加え、津波・火災・液化化現象・福島第一原子力発電所事故など多岐に渡る災害が発生させ、現在も震災の影響を残し続けています。

防災対策の重要性を再認識

今回の地震では、当市でも震度6強の揺れを観測した地点もあり、道路や家屋の損壊、停電、断水など多数の被害が発生し災害救助法が適用されました。そのようななかでも震災による死者が一人も出なかったことが不幸中の幸いでした。今回の大

震災を経験し、地震をはじめとする防災対策の重要性を改めて実感されたことと思います。災害は、いつどこで発生するか誰にもわかりません。また、これから先大きな地震が発生する可能性もあります。今回の地震以上の被害が出るかもしれません。いざという時のために、防災対策をしっかりととり、被害を最小限に食い止められるよう改めて防災について考えましょう。

具体的な地震の心得をまとめました。

東日本大震災により市消防本部及び東消防署庁舎が損壊したため、現在同敷地内に建設した仮庁舎に消防本部及び東消防署の機能を移転し運用しています。

何かとご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

常陸大宮市消防本部

地震発生!

地震の心得 10のポイント



地震は、いつ発生するか予測できないところに恐ろしさがあります。いつ発生しても適切な対応がとれるよう各家庭や学校、職場、地域などで話し合い、いざという時のためにしっかりと備えておきましょう。

◆ 転倒・落下防止対策として、家具類や照明器具を金具やバンドなどでしっかりと固定しましょう。

2 すばやく火の始末

◆ 「火を消せ！」とみんなで声を掛け合い、調理器具や暖房器具などの火を確実に消しましょう。
◆ 火元の近くに燃えやすい物を置かないようにしましょう。

3 戸を開けて出口を確保

◆ 地震の時は、ドアや窓が変形して開かなくなることがあります。ドアや窓を少し開けて、逃げ道を作ります。

4 火が出たらすぐに消火

◆ 「火事だ！」と大声で叫び、隣近所にも助けを求め初期消火に努めましょう。日頃から消火器の用意を忘れずに。

5 急に外に飛び出さない

◆ 逃げる時は上方からの落下物に注意し、慌てずに落ち着いて行動をとりましょう。
◆ ヘルメットや座布団などで頭を保護しましょう。

6 ブロック塀などに近づかない

◆ ブロック塀は倒壊する危険があるので近寄らないようにしましょう。
◆ 屋外では公園などの広い場所へ避難し、倒れてきそうな物から離れましょう。

7 山崩れ・がけ崩れ・津波に注意

◆ 山間部や海沿いの地域で揺れを感じたら、高台等安全な場所に早めに避難しましょう。
◆ すぐに安全な場所へ避難できるように普段から家の周辺などをチェックしておきましょう。

8 避難は徒歩！ 荷物は最小限に

◆ 自動車や自転車での避難は絶対にいけません。渋滞が発生し緊急車両の妨げになったり慌てているため交通事故を起こしたり二次災害

の発生するおそれがあります。

◆ 避難する場合には、火事にならないよう、必ず電気のブレーカー等を切りましょう。

◆ 普段から防災グッズや非常持ち出し品を準備し、半年に一度は点検するようにしましょう。

9 協力して救出・応急処置

◆ 逃げ遅れ者や負傷者が多数出た場合は、消防機関や警察機関、医療機関などの対応にも限界があります。お互いに協力して救出や応急処置をしましょう。

10 正しい情報を聞く

◆ ラジオや自治体、消防・警察機関などからの正しい情報を得て、的確に行動しましょう。

1 まずは身の安全を確保

◆ 何よりも大切なのは命。地震が発生したら、まず第一に身の安全を確保しましょう。

